

経営比較分析表（令和2年度決算）

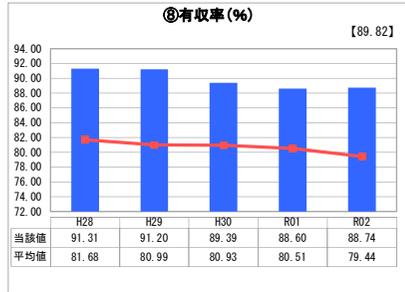
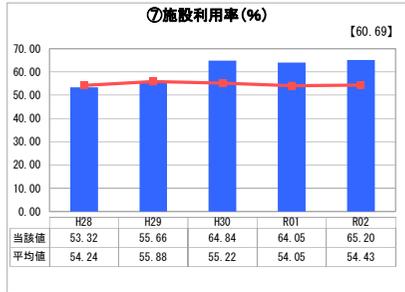
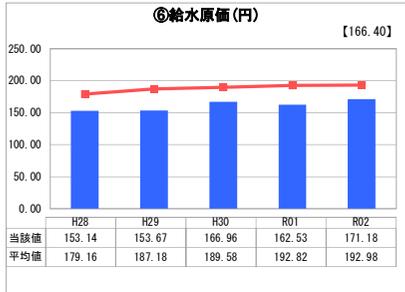
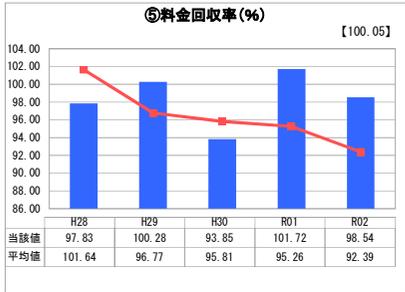
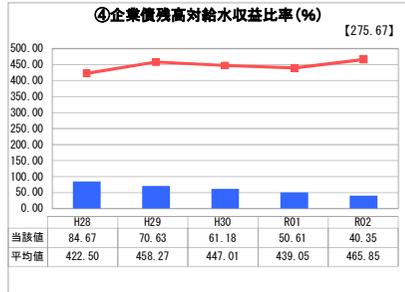
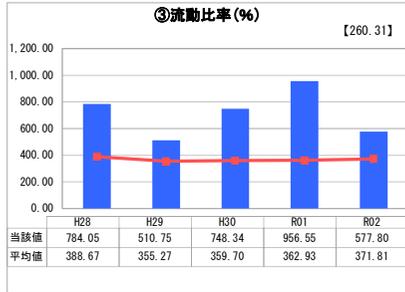
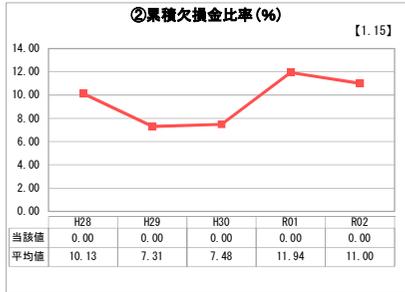
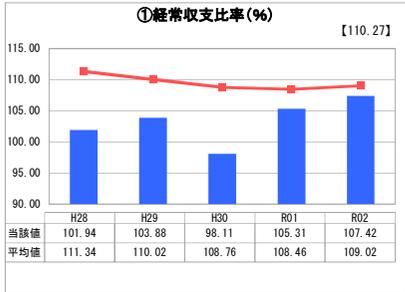
沖縄県 金武町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	92.75	91.06	1,760	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
11,450	37.84	302.59
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,424	14.60	713.97

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

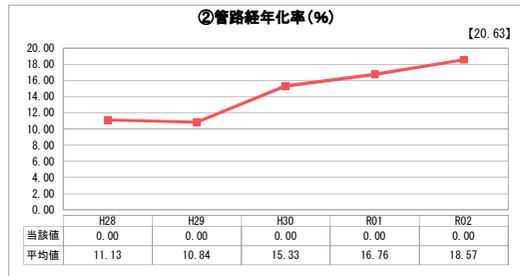
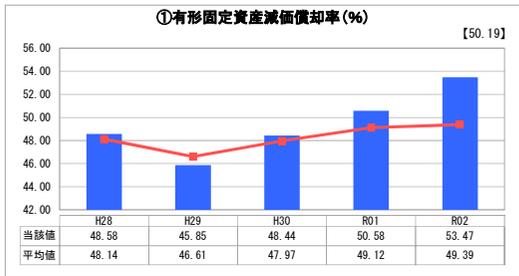
1. 経営の健全性・効率性について

① 令和元年度から黒字に転じております。この主な要因は令和元年11月分から水道料金の改定により経営収支比率が上がり、経営の改善が図られたことが挙げられます。
 ② 累積欠損額は発生しておらず概ね健全な経営であります。
 ③ 流動比率は当該値が示しているように、若干減少しておりますが、これは令和元年度に受けた国庫補助金を繰越しすることで令和2年度の前受金が発生したことによるものであります。他団体と比較し流動比率が大きいのは現金預金を多く有しているため短期的な債務に対する支払い能力は健全な状態にある。
 ④ 企業債は平成12年度以降起債が無いため類似団体に比較し低く推移しています。
 ⑤ 料金回収率は前年度より若干減少しておりますが、この主な要因は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う経済対策として、家庭用及び営業用の水道料金の令和2年5月検針分から7月検針分までの3か月分について全額免除したことによるものであります。
 ⑥ 給水原価は類似団体近くで推移している。
 ⑦ 施設利用率は65.2%で類似団体に比べ若干高く、効率的に施設が稼働していることが確認できる。
 ⑧ 有収率は89%前後であり、令和2年度全国平均に近い数値である。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は53.47%で令和2年度全国平均とほぼ同率の償却率であります。
 ②③については管路管理がされていないため未表示であります。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営面では経常収支比率の悪化傾向であったが、令和元年11月分から水道料金の改定を含め、消費税の転嫁により経常収支比率の改善を図ることで、経営改善が見えてきたところであります。
 令和2年度作成のアセットマネジメント及び経営戦略を活用し、施設経年管理等を行うことで老朽化していく施設の改良に必要な補填財源の確保を図り、安心安全な水道水の安定供給と健全経営を目指してまいります。